

国保通信



問い合わせ

市民生活課 保険年金係

☎ 75-12159

はり・きゆう・あんまや人間ドックの助成制度をご存知ですか？

多久市の国民健康保険では、加入者がはり・きゆう・あんまや人間ドックを受ける際の負担額を一部助成しています。

希望者は、保険年金係の窓口までお申し出ください。助成内容、申請に必要なものは次のとおりです。

はり・きゆう・あんま助成

○対象者

- ・多久市の国民健康保険加入者
- ・後期高齢者医療制度加入者

○助成額

- ・利用一回につき千円の助成

○利用制限

- ・年間30回（4月～翌年3月まで）
- ・1日に1回まで

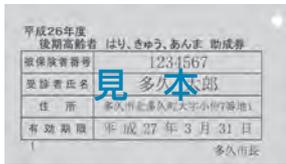
○持ってくるもの

- ・受診する人の健康保険証

※代理申請の場合は、身分を証明できるものをお持ちください。



▲国民健康保険の助成券



▲後期高齢者の助成券

人間ドック助成

○対象者

- ・多久市の国民健康保険加入者（入院療養中の人は除く）

※予算の範囲(70人)までとなります。早めの申請をお勧めします。

※指定された医療機関での受診となります。

○助成額

- ・2万8千円（医療機関では総請求額から2万8千円を差し引いた額をお支払いください）

○持ってくるもの

- ・受診する人の国民健康保険証
- ・印鑑

※代理申請の場合は、同意書などの本人記入書類がありますので、一日持ち帰りとなります。

○申請・受診の流れ

- ①申請に必要な書類（4枚）に記入
- ②決定通知書の送付を待つ
- ③本制度対象医療機関へ予約
- ④受診

いずれも、申請時に国民健康保険納期到来分に未納がある世帯は、助成を受けることはできません。

糖尿病で治療しているのに・・・数値が高いのはなぜでしょう。血糖値コントロールがうまくいくように



健診の結果から生活を見直し、健康を守りましょう

9月号で、多久市の健康課題である「肥満」内臓脂肪が多いメタボリックシンドローム」についてお知らせしました。

今月号では、もう一つの多久市の健康課題である「糖尿病」についてお知らせします。

平成25年度の健診結果では、糖尿病の合併症が心配されるHbA1c 7.0%以上の割合が、県内ワースト1位という不名誉な結果でした。

糖尿病は、いまや国民病と言われており、多久市でも多くの人が治療を受けています。

その治療は、まず食事と運動をしっかりと見直して、生活習慣の改善をしながら、内服薬やインスリン療法などを行っていきます。

今年度の特定健診を受けて、糖尿病が心配な人を対象に、糖尿病予防教室を開催します。昨年に引き続き、長野県で管理栄養士として活躍中の林律子さんを講師に迎えます。



糖尿病の合併症を予防しよう

—HbA1cを上手にコントロール—

- | | | | |
|-----|----------------------------------|-----------|------|
| 1回目 | 10月24日(金) | 9時30分～11時 | 受付9時 |
| 場所 | 母子健康センター | | |
| 内容 | 講話「糖尿病のコントロールのために」 | | |
| 講師 | 林律子さん（管理栄養士） | | |
| 2回目 | 10月30日(木) | 9時30分～13時 | 受付9時 |
| 場所 | 中央公民館 和室 | | |
| 内容 | 講話「合併症について」
実技「足の観察ポイント」 | | |
| 講師 | 江頭早苗さん
(小城市民病院糖尿病コーディネーター看護師) | | |

この日は、調理実習と試食があります。



この教室では、自分の血糖コントロールの必要性和方法をわかりやすく学習します。参加費は必要ありませんので、糖尿病について一緒に学びましょう！

該当者には通知しますが、ご参加も申し込みできます。

問い合わせ
健康増進課
☎ 75-13355